

村民各位

議員定数に関するアンケート調査結果について

アンケート調査結果がまとまりましたので、その内容を以下のとおり報告いたします。

お忙しい中、多くの村民の皆様にご協力いただき、また貴重なご意見をたくさん頂戴しましたことに対し御礼申し上げます。

頂戴したご意見は、議会として真摯に受け止め、今後改善できるところは改善しながら、皆様に信頼される、活動の見える議会づくりに努めていく考えでありますので、今後とも、我々議会並びに議員に対しまして御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月

玉川村議会議長

須藤利夫

◆アンケート結果

(1) 配付及び回収結果

配付数	1,799
回収数	1,029
回収率	57.20%

配付日：令和5年10月12日～順次

回収期日：令和5年11月20日

調査方法：全戸数、各世帯1枚

(2) 問1 本アンケート調査をご記入された方の年代を教えてください。

年代	回答数	年代	回答数
① 18～29歳	10	④ 50代	193
② 30代	36	⑤ 60代以上	649
③ 40代	119	未記入	22

(3-1) 問2 玉川村議会の議員定数は、何人が適正であると思いますか。

定数	回答数	定数	回答	定数	回答
① 18人	22	0人	1	14人	1
② 12人	382	1人	1	16人	1
③ 10人	402	2人	1	1～2人	1
④ 8人以下	156	3人	1	0～5人	1
⑤ その他	38	5人	5	8か10人	2
未記入	29	6人	4	8～10人	1
合計	1,029	7人	1	12か18人	1
		8人	1	7人以下	1
		9人	2	記入なし	6
		11人	6		

(3-1) 問2 年代ごとの議員定数に関する回答結果は次のとおり。

年代	回答数	議員定数に関する回答内訳					
		18人	12人	10人	8人以下	その他	未記入
18—29歳	10	2	4	3	1	0	0
30代	36	0	22	6	5	2	1
40代	119	5	56	38	14	5	1
50代	193	4	87	67	26	8	1
60代以上	649	11	213	287	109	23	6
未記入	22	0	0	1	1	0	20
合計	1,029	22	382	402	156	38	29

(4) 議員定数を選択した理由について（主なものを記載しています）

※原文をそのまま記載しています。

○18人（増員すべき）

- ▷議員はある程度的人数がいた方が色々な意見が出て議会が活性化して良い。住民の声が届きやすくなるのではないかな。
- ▷現在の議員は、年齢も高く、女性もいなくなってしまったので、人数を多くすれば若い方や女性の候補も出てくるのではと思います。

○12人（現状維持）

- ▷定数を減らすと、いろんな意見が出なく議論にならなくなると思う。現状のままで良いと思う。
- ▷現状の12名が適正であると考えます。人口減少の中で定数を増やすことは現実的でないと思いますが、これ以上議員数が減れば住民の声が行政に届きにくくなります。
- ▷議員定数は現状が妥当だと思います。問題は定数でなく活動内容だと思います。
- ▷とりあえずまだ現状のままでいいと思いますが、村の人口がもっと大幅に減少してくれば、議員定数ももっと削減した方がいいと思います。
- ▷各部落に議員さんがいる方が意見の出し合いで良い結果が得られるのではないかとと思われるので。
- ▷人口2000人未満の町村上限数同じで現在条例で定めているから、これ以上定数を削減すれば議会としての存在意義がなくなり、首長独自の村政執行となり兼ねない恐れがあるため。
- ▷議員になろうとする人がいないから減らそうとする考えは安易だと思う。減らすことで住民の声が届きにくくなると思う。議員の生活を保障して専念できるようにした方がいいと思う。
- ▷現状より少ない定数では、更に住民の様々な意見が届けにくくなる。現状より少ない定数になることを想像すると、議員の固定化に繋がり、新しい方、若い方のなり手が益々少なくなると思うので、現状の定数のままでよい。

● 10人（削減すべき）

- ▶全国的に見ても地方自治体、特に「村」の自治体は10～8人程度が適当であると思われる。大きな理由は何といても少子高齢化に伴う人口の減少である。
- ▶玉川村の人口減少（6200名）の推移の中で、定数10名の近隣の村は泉崎村（6000名）または天栄村（5200名）で、玉川村の人口減少が進むのであれば8名（10年後1000名の減少）も考えられる（定数8名、中島村5000人）
- ▶人口減少による経費削減。
- ▶村の負担を少なくするため。村の人口も減少傾向にあるため、議員の数も減らすと良い。
- ▶定数を減らして給与を上げないと、議員のなり手が少なくなってしまうと思うため。
- ▶少子高齢化、人口減少傾向は今後も続くと思われる。議会はこれらの問題に対応するため、議会の活性化、スリム化が必要と思われる。定数削減により経費削減や意見がまとめやすく、議事が簡潔に効率的に進められる等のメリットがあるため。

● 8人以下（削減すべき）

- ▶玉川村の人口5千人台になろうとしている現在、議員定数は10人も不要だと思います。議員が10人以下となっても有意義な議論は可能であるべき。
- ▶経費削減。
- ▶議員が多くても村民の意見が届いていないから。
- ▶予算面や必要な人数は事務量に応じて決めればよい。8人程度が妥当ではないか。

（5）議会に対する要望など（主なものを記載しています）

※原文をそのまま記載しています。

- ◇村の課題について議員の視点ばかりでなく、村民の声を反映できるシステムの構築が必須で急ぐべきである。
- ◇議会だよりだけでなく、いろいろなツールを使って村民に活動を伝えて欲しい。
- ◇今後の玉川村の未来を考えながら、住民の意見の集約をし、住民のため、村のために発展的な議会運営を望みます。
- ◇人口減少により、小さい子どもなども見ない時もけっこうあります。寂しい限りです。もう少し活気のある村にして欲しいです。若い人が定住するような村になればと思います。これからの村づくりは、一カ所に集中した開発をするのが良いと思うし、人口減少の続くこれからは必要だと思います。
- ◇せっかく玉川村で色々なイベント、行事、または議会で進める新たな事業、開発、研修など。若い方や新しく来た方、行事に参加したことのない人は何をしているのかわからない。もっと、情報発信をして欲しい。YouTubeもインスタもLINEも中途半端。そういう面においても若い議員さんがいると活発になると思います。
- ◇議会の見える化をしてほしい。全部とはいいませんので、土日や夜に議会をやって、村民に広報して、見に来てくださると。目に見えないと知らないままになっていると思います。
- ◇議員の方々とお話しする機会があればいいなと思う。特に学校などで子供たちに議会の役割や現状をわかりやすくお話する機会があってもいいのではないかと思います。

- ◇議員は他町村の情報を集め福祉サービスの格差がないように村に進言すべきである。須釜地区より本庁へ行く交通手段（村民タクシー）を考えて欲しい。
- ◇議員として生計がたてられなければ、一生懸命に仕事、役割、熱意と志をもって取り組めないと。片手間では、村民の代表として村政の方向性、要望や意見を反映はできません。100年後、1000年後も続く玉川村にさせていただきますようお願いいたします。嬉しい、楽しい、幸せな村であって欲しいです。
- ◇少子高齢化、地区の交通手段の確保。高齢者、1人暮らしの家の見守り方。農地放地の活用（荒地拡大）。
- ◇移動販売サービス続けてもらいたい。
- ◇サラリーマン議員はいらない。本当に村のことを思って欲しい。



皆様からお寄せいただいた御意見の中で、村政に関するものにつきましては、村執行当局へ情報をお伝えし、情報の共有化を図ってまいります。

議会として改善できるものがあれば、今後出来る限り改善をしていくよう努力してまいります。

★アンケート調査への御協力、貴重な御意見等をお寄せいただきありがとうございました。

現在玉川村議会では、「玉川村議会基本条例」において議会活動のあり方を定めるべく、令和5年12月定例会において玉川村議会基本条例制定特別委員会を設置するよう進めております。今後は、特別委員会が中心となり、議会基本条例制定に向け取り組んでまいります。

議会基本条例とは

議会の理念・あるべき姿、議会と議員の活動原則や住民参加を推進することを明文化した、議会運営の基本原則を定めるものです。

議員は、本条例にしたがい、議会での議論を活発にし、公平・公正・透明で開かれた議会づくりを推進していき、真に住民の負託にこたえ得る議会の実現をめざします。

※お問い合わせ先：玉川村議会事務局 電話 57-4630